

ジフルフェニカン・フルフェナセット剤 リベレーター (フロアブル/G)	取扱メーカー： クミカ、バイエル 原体メーカー： バイエル、バイエル
成分： ジフルフェニカン〔ニコチンアニリド系〕8.4% (フロアブル), 0.20% (G) フルフェナセット〔酸アミド系〕33.6% (フロアブル), 0.60% (G)	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体(フロアブル) 黄赤色細粒 (G) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

●スズメノテッポウ、スズメノカタビラ、カズノコグサ等の一年生イネ科雑草からハコベ、ノミノフスマ、ナズナ、タネツケバナ、イヌカミツレ、ノボロギク等の一年生広葉雑草まで幅広い範囲の麦畑雑草に効果を示す。

●スルホニルウレア系、ジントロアニリン系除草剤抵抗性スズメノテッポウにも優れた効果を発揮する。

●長い効果の持続が期待できる。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

〈フロアブル〉

●幅広い散布適期を有し、麦は種後から麦3葉期まで使用できる。(イネ科雑草1葉期まで)

〈G〉

●幅広い散布適期を有し、麦は種後から麦2葉期まで使用できる。(イネ科雑草1葉期まで)

【使用上のポイント】

〈共通〉

●雑草の発生前からイネ科雑草1葉期まで有効なので、時期を失しないように散布する。

●土壌表面が適度に湿っている状態で散布するとより効果的である。

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

●碎土、整地は丁寧に行い、覆土深が2～3cmとなるように細かく砕いた土を用いて丁寧に覆土する。

●砂質土壌での使用は、薬害を生じるおそれがあるのでさける。

●大麦の出芽前期の使用において、高薬量では薬害を生じる場合があるので注意する。

●水田裏作の麦類では、過湿状態での使用はさける。

●処理後に大量の降雨が予想される場合は使用をさける。

●本剤の使用により麦の葉身に白化や黄化等が見られる場合があるが、その後出てくる葉には認められず回復する。

●薬液の飛散や本剤の流出で有用植物に薬害を生じるおそれがあるので、散布の際は隣接作物にかからないように注意する。特に風の強い時の使用はさける。

●本剤を散布した圃場で後作物を栽培する場合は、十分に耕起する。

●適用作物（小麦、大麦）の薬害等の注意は「薬害注意事項解説」を参照。

〈フロアブル〉

●根雪前の火山性土（黒ボク土等）での使用は、薬害を生じるおそれがあるので、事前に薬害の有無を確認し、薬害を生じた場合には使用をさける。

【安全対策上の注意】

〈フロアブル〉



【適用と使用法】

①リベレーターフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用地帯
				薬量	希釈水量			
小 麦	一年生雑草	は種後～ 麦3葉期 (雑草発生前 ～イネ科雑草 1葉期まで)	全土壌 (砂土を除く)	60～ 80 ml	70～ 100 ℓ	1回 ※	雑草茎 葉散布 又は全 面土壌 散布	北海道
大 麦 (秋播栽培)					100 ℓ			全域 (北海道 を除く)

※ジフルフェニカンを含む農薬の総使用回数：1回

※フルフェナセットを含む農薬の総使用回数：1回

②リベレーター G

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10 a 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯
小 麦 (秋播栽培) 大 麦 (秋播栽培)	一年生雑草	は種後～ 麦2葉期 (雑草発生前 ～イネ科雑草 1葉期まで)	全土壌 (砂土を除く)	4～5kg	1回 ※	全面土壌 散布	全域 (北海道を 除く)

※ジフルフェニカンを含む農薬の総使用回数：1回

※フルフェナセットを含む農薬の総使用回数：1回